

主催者の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

飯田文化会館

本書で示す内容は、皆様に安心してご来場いただけるように、国や県、公益社団法人全国公立文化施設協会等が示した指針、ガイドライン等を参考に、当館でまとめた新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の例です。

令和 2 年 9 月 19 日以降の催物の開催制限（入場率、入場者数）については、一定条件のもとで緩和することが可能となりましたが、緩和するためには、施設管理者と相互に協力、連携しつつ、役割分担で確実な感染防止対策の実施等が求められています。また、開催制限の緩和措置を取らず開催する場合でも、これまで通り感染拡大防止対策は実施していくこととなります。

重要な点は、『3密』（①密閉、②密集、③密接）を回避し、政府の示す『新しい生活様式』（①身体的距離の確保、②対面での会話、大声での会話の自粛、③マスクの着用と咳エチケットの励行、④手洗い、手指消毒の励行）に沿った対策に徹底して取り組むことです。

飯田文化会館ホール、飯田人形劇場等で催し物を行う際は、本書を参考にいただき、施設の特長や公演の態様に応じて、それぞれで感染防止の取り組みを講じてください。

基本事項

- 1 公演等主催者及び関係者、来場者、施設管理者（飯田文化会館）等全ての方に対し、基本となる感染防止策
 - (1) マスクの原則常時着用
 - (2) 手指の消毒や手洗いの徹底
 - (3) 大声を出さないことの奨励、咳エチケット
 - (4) 相互の社会的距離の確保（最低 1 m）
 - (5) 換気の励行（公演等主催者、施設管理者等）
 - (6) 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限
 - (7) 厚生労働省による新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のインストールと活用を推奨
 - (8) 検温を励行し、健康状態に不安のある方や、以下の症状等に該当する場合は、自宅待機等の対応を取る
 - ①平熱と比較して高い発熱がある方
 - ②体調がすぐれない方（咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚

- 障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状)
- ③新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触した方
 - ④過去 2 週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方

企画段階において

1 公演時間の考慮

- (1) 休憩時間中の来場者の移動による混雑を回避するため、休憩時間を設けない短時間での公演内容の検討や、休憩時間を設ける場合は、余裕を持った休憩時間を設定する。
- (2) 密集を回避するため、余裕を持った開場時間、退場時間を設定する。

2 公演内容の考慮

- (1) ハイタッチや声援を求めるなど、出演者と来場者、あるいは来場者同士が接触するような演出は避ける。
- (2) 出演者同士の間隔は十分に空ける。特に大きな声出し、大人数での楽器演奏や合唱、激しい動きは、身体的距離を確保する。
- (3) サイン会、握手会等出演者と来場者が接する催し物は行わない。

3 客席の配置

- (1) 原則として指定席にするなどして、主催者側で客席状況を管理調整できるようにし、来場者と座席が確認でき感染者が発生した場合に速やかに対応できるように備える。
- (2) 施設で定める定員の上限を守り、客席は左右を空け、前後は人の頭部が重ならないよう配席する。また、使用させない座席へ掲示をする。
※掲示物は文化会館で用意したものを使用してください。(現在は原則として収容率 50%の配席に設定)
- (3) 客席の最前列席は舞台前から十分な距離を取ることとし、最低でも水平距離で 2 m 以上を設ける。それが困難な場合は、フェイスシールドの着用など距離を置くことと同等の効果を有する措置を講じる。

※客席 1 列目までの距離

ホール：緞帳ラインから 3 m / 舞台先端から 1.5 m

人形劇場：緞帳ラインから 2.1 m / 舞台先端から 1.5 m

来場者の感染防止

1 感染防止対策の事前周知・広報

次の内容を来場者に事前周知・広報する。(当日の会場内にも、制限内容、依頼事項等を掲示する。)

- (1) 必ず来場前に検温し、健康状態に不安のある方や、次に該当する方は来場を控えてください。
 - ①平熱と比較して高い発熱がある方
 - ②体調がすぐれない方(咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状)
 - ③新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触した方
 - ④過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方
- (2) 入場の際に検温させていただくことがあります。
※文化会館に貸出用の非接触型体温計があります。数に限りがありますので、事前にお問い合わせください。
- (3) 検温や体調確認をした上で、異常があると判断した場合は、入場をお断りする場合があります。(お断りした場合の払い戻し措置等を事前に規定しておく。)
- (4) 来場者の氏名、連絡先、座席を確認し、個人情報の漏洩防止策を講じて一か月程度保管させていただきます。必要に応じて保健所等から情報の提供を求められる場合があります。保存期間終了後は、すべて廃棄し、他の目的に使用することはありません。
- (5) 待機場所や入場列、休憩スペース等も含め、施設内及び施設周辺では、政府の示す「新しい生活様式」に沿った行動を心掛けてください。
 - ①身体的距離の確保(最低1m)
 - ②対面での会話、大声での会話の自粛
 - ③マスクの着用と咳エチケットの励行
 - ④手洗い、手指消毒
- (6) 開場前の待機場所や入退場の際等は、係員の案内に従っていただくようお願いします。
- (7) 入り待ちや出待ち、プレゼントの提供、楽屋面会をご遠慮ください。
- (8) 入場チケットは係員が目視で確認いたします。もぎりが必要な場合はご自身でチケットの半券を切っていただくなど、係員の案内に従ってください。
- (9) プログラム・チラシ・アンケート等は、ご自身でお取りください。
- (10) 厚生労働省による新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のインストールと活用を推奨します。

2 入場時の対応

- (1) 手指の消毒液(容器含む)は主催者側で用意し、消毒液等を使用した手指の消毒やこまめな手洗いを来場者に促す。

※トイレや共用スペースには、文化会館側で消毒液を設置しています。

- (2) 来場者の密集を回避するため、エリアごとに誘導するなど、アナウンス等で案内する。
- (3) 来場者の待機場所や入場列は、最低1mの距離を保つよう努める。待機列の表示や案内看板等の使用、アナウンス等により誘導を行う。
- (4) 入場時に検温し、健康状態に不安のある方や、次に該当する方は入場をお断りする。また、入場をお断りする際にできるだけ不利益とならないよう、事前に払い戻しや振替等の対応策を講じておく。
 - ①平熱と比較して高い発熱がある方
 - ②体調がすぐれない方（咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状）
 - ③新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触した方
 - ④過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方
- (5) 入場時のチケット半券のもぎりを自粛し、係員は入場チケットを目視でのみ確認する。もぎりが必要な場合は、来場者自身がチケットの半券を切って所定の箱の中に入れるような工夫をし、来場者に案内する。

係員は、主催者側で用意したフェイスガード（マスク）を着用する。
- (6) 原則、プログラム等は平置きしたものを来場者自身が取るように案内する。手渡しをする場合、係員は主催者側で用意したフェイスガード（マスク）と手袋を着用する。
- (7) マスクの着用及び咳エチケットを励行するように案内する。
- (8) 入り待ち、プレゼントの提供、楽屋面会はお断りする。

3 チケット販売と発券

- (1) 対面で販売を行う際は、透明ビニールシート等の間仕切り等を設置し、飛沫感染、直接感染の防止に努める。

※文化会館に貸出用の透明アクリル板の用意があります。数に限りがありますので、事前にお問い合わせください。
- (2) 現金の直接授受を避ける対策を行う。
- (3) 係員は、主催者側で用意したフェイスガード（マスク）と手袋を着用する。
- (4) チケット売場での購入者の列は、最低1mの距離を保つよう努める。待機列の表示や案内看板等の使用、アナウンス等により誘導を行う。
- (5) 不特定多数の人が触れる箇所を頻繁に消毒する。

※テーブル等文化会館の備品については、文化会館で用意した除菌スプレー、布巾をお使いください。持込備品に関しては、素材に合った消毒液や除菌液等を主催者側でご用意ください。
- (6) 係員に、手指の消毒、または手洗いを丁寧に行うことを周知する。

4 開場時、休憩時における対応

- (1) マスクを着用し、対面での会話や大声を控え、自席で静かに過ごすよう周知する。
- (2) 余裕を持った休憩時間を設定し、時間差でトイレやロビー等を利用するよう周知する。
- (3) 開場時、休憩時にロビーや客席入口の扉を開放し、換気を行う。(本番時も可能な限り開放する)
- (4) 休憩スペース等は、最低1mの距離を保つよう努める。待機列の表示や案内看板等の使用、アナウンス等により誘導を行う。
※ロビー等の椅子には、座る間隔を示してあります。
- (5) 待機列が予測される場所(トイレ等)は、間隔を空け整列するよう案内する。
※トイレには、待機列の間隔や導線を示してあります。ホール地下のトイレは、男性、女性ともに一方通行とします。
- (6) 不特定多数の人が触れる場所を触れた場合には、手洗いまたは手指の消毒を周知する。
- (7) 不特定多数の人が触れる箇所を頻繁に消毒する。
※テーブル等文化会館の備品については、文化会館で用意した除菌液、布巾をお使いください。持込備品に関しては、素材に合った消毒液・除菌液等を主催者側でご用意ください。

5 退場時の対応

- (1) 退場者の密集を回避するために、エリアごとに誘導するなど、アナウンス等で案内する。
また、身体的距離を確保するよう、あわせて案内をする。
- (2) 出待ち、プレゼントの提供、楽屋面会はお断りする。

6 物販

- (1) なるべく物販は行わないようにする。やむを得ず対面で物品の販売を行う際は、透明ビニールシート等の間仕切りを設置し、飛沫感染、直接感染の防止に努める。
- (2) 現金の直接授受を避ける対策を行う。
- (3) 係員は、主催者側で用意したフェイスガード(マスク)と手袋を着用する。
- (4) 売場で前の人と身体的距離を確保し整列していただくよう、足元などにサイン等を示し案内する。
- (5) 不特定多数の人が触れるサンプル品・見本は置かないようにする。
- (6) 不特定多数の人が触れる箇所を頻繁に消毒する。
※テーブル等文化会館の備品については、文化会館で用意した除菌液、布巾をお使いください。持込備品に関しては、素材に合った消毒液・除菌液等を主催者側でご用意ください。
- (7) 係員に、手指の消毒、または手洗いを丁寧に行うことを周知する。

7 開場前、終演後の対応

(1) 接触感染を避けるため、不特定多数が触れやすい場所の消毒を行う。

①客席内…座席のひじおき、背もたれ、手すり、扉など（未使用の座席であっても触れる可能性がある場合は消毒する）

②トイレ…ドアノブ、電気のスイッチ、ベビーシートなど

③ロビー…テーブル、椅子、手すり、扉など

※座席については、文化会館で用意した消毒液、布巾をお使いください。

※テーブル等文化会館の備品については、文化会館で用意した除菌スプレー、布巾をお使いください。持込備品に関しては、素材に合った消毒液・除菌液等を主催者側でご用意ください。

出演者・スタッフの感染防止

1 事業実施前の対応

(1) 出演者、スタッフで、公演またはリハーサル開始までの1週間に、次のいずれかの症状がある場合には、医師または関係機関に相談することとし、主催者は、医師または関係機関の判断に基づき、その者の参加の可否や、事業実施の可否を決定する。

①平熱と比較して高い発熱がある方

②体調がすぐれない方（咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状）

③新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触した方

④過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方

(2) 出演者、スタッフに対し、厚生労働省による新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のインストールと活用を促す。

2 公演当日およびリハーサル当日の対応

次の内容出演者、スタッフに周知徹底する。（当日の会場内にも、制限内容、依頼事項等を掲示する。）

(1) 手指の消毒液（容器含む）は主催者側で用意し、消毒液等を使用した手指の消毒やこまめな手洗いをする。

※トイレや共用スペースには、文化会館側で消毒液を設置しています。

(2) 必ず会場入りする前に自宅等で検温し、健康状態を確認する。

(3) 主催者は出演者・スタッフの氏名、連絡先を把握し、個人情報の漏洩防止策を講じて一か月程度保管する。（必要に応じて保健所等から情報の提供を求められる場合があることを事前に周知する。）保存期間終了後は、すべて廃棄し、他の目的に使用しない。

(4) マスクの着用及び咳エチケットを実践する。出演者については、マスク着用が難しい場合は、適宜感染防止に努める。

- (5) 対面での会話や大声を控える。
- (6) 控室や楽屋等の利用人数は、施設で定める定員以下とし、同時に多くの人が同一の場所を利用することのないよう、時間差を取るなどの対応を行い、身体的距離を確保する。
- (7) 控室や楽屋等は、常時換気に努める。
- (8) 不特定多数の人が触れる箇所を頻繁に消毒する。また、退館の前にも消毒を行う。
※テーブル等文化会館の備品については、文化会館で用意した除菌スプレー、布巾をお使いください。持込備品に関しては、素材に合った消毒液・除菌液等を主催者側でご用意ください。
- (9) 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限する。不特定者が共有した場合は、使用の合間に消毒を行うか、使用前後の手指消毒を徹底する。
※文化会館の備品の消毒方法については、舞台スタッフに確認してください。
- (10) 仕込み、リハーサル、撤去において十分な時間を設定し、密な空間の発生防止に努める。
- (11) 出演者、運営スタッフ等へ食事を提供する場合は、1 回分ずつ分けて配布できるものとし、ケータリング形式では行わない。また使い捨ての紙皿やコップを使用するか、個人でタンブラー等を用意するよう促す。
- (12) 来場者と接触するような行動は控える。また、サイン会や来場者からのプレゼントや花束等の受理は控える。
- (13) 舞台裏、控室や楽屋には長居せず、速やかに着替え等を済ませて、換気のよい場所へ移動するよう心掛ける。

当日、感染が疑われる人が出た場合

1 対処の手順

- (1) 体調を崩された方がいた場合は、別室を確保し、隔離する。
※対応についてはあらかじめ文化会館と協議してください。
- (2) 対応するスタッフは、フェイスガード（マスク）、手袋等を着用のうえ対応する。
- (3) 感染が疑われる症状の場合は次の医療機関に相談する。
 - ◎平日：かかりつけ医
 - ◎休日：休日夜間急患診療所（飯田市東中央通 5-96） 【電話 0265-23-3636】
 - ◎飯田保健所「有症状者相談窓口」 【電話 0265-53-0435／24 時間対応中】
- (4) 保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、氏名及び緊急連絡先を把握して名簿を作成する等、必要な情報提供を速やかに行えるよう態勢を整える。